

# 「社会福祉法人らくらく会計 C2」の仕訳

1	仕訳の方式について	2
	「らくらく会計」の仕訳概要	2
	「らくらく会計」の仕訳のルール	2
2	具体的な仕訳例	3
	日常の仕訳について	3
	収入（当期の事業収入）があった場合の仕訳	3
	支出（当期の事業支出）があった場合の仕訳	3
	給与の支払	3
	複合仕訳について	4
	未払金・未収入金・前払金・前受金・立替金等の仕訳	4
	未払金に係わる仕訳	4
	未収会費・未収入金に係わる仕訳	5
	前受金に係わる仕訳	5
	前払金に係わる仕訳	5
	預り金に係わる仕訳	6
	仮払金に係わる仕訳	6
	固定資産に係わる仕訳	7
	通常固定資産の取得	7
	建物仮勘定を使う仕訳	7
	固定資産の売却仕訳	7
	固定資産の修正仕訳	8
	減価償却及び国庫補助金等取崩の仕訳	8
	借入金に係わる仕訳	9
	長期借入金の発生	9
	長期借入金の返済	9
	積立金に係わる仕訳	9
	積立金の積立時の仕訳	9
	積立金の取崩時の仕訳	9
	退職共済預け金に係わる仕訳	10
	毎月の仕訳（引当金の組入れと、預け金の支出）	10
	退職金の支払時の仕訳	10
	職員の所属が変更になった場合の移動仕訳	11
	そのほか注意の必要な仕訳	11
	寄付金で建物を取得した場合	11
	国庫補助金等を受入れた場合	11
	経理区分間の移動について	12
	A 部門から B 部門へ資金を繰り入れる場合	12
	A 部門から B 部門へ建物を移動する場合・・・資金収支計算書に変化はありません。	12
	A 部門から B 部門へ設備資金借入金を移動する場合・・・資金収支計算書に変化はありません。	12
	設備資金借入金を償還寄付金収入で返済	13
	資金諸口（諸口）と非資金諸口の使い方	13
	支払資金科目以外での資金収支計算書への反映について	13

## 1 仕訳の方式について

### 「らくらく会計」の仕訳概要

- 資産・負債科目と事業活動収支科目（収益・損益）で仕訳を行います。
- 資金の動きのある取引は、自動的に資金収支計算書に計上されます。
- 完全な「**1取引1仕訳**」を実現しています。

次に説明する幾つかの注意点を除くとほぼ普通の商業簿記と同じ仕訳が出来ます。

### 「らくらく会計」の仕訳のルール

1. 非資金取引は、必ず単一仕訳で行ってください。

減価償却費 1,000 / 車 両 1,000

減価償却費 2,000 / 器具及び備品 1,000

1対N、N対1、N対Mのような複合仕訳を行うと、相手勘定は自動的に資金諸口になって、正常な会計処理が出来ません。

2. 固定資産や固定負債の修正伝票は、逆仕訳ではなく、マイナス金額で行ってください。

- 例) 借入金 が 600,000 円多く計上されていたので、取り消す場合。

現金 -600,000 / 借入金 -600,000

- 例) 購入した器具及び備品（固定資産）の入力ミスが年度末にわかり、60,000円減額したい。

器具及び備品 -60,000 / 現金 -60,000

マイナス金額で行う理由は、資金収支計算書では総額集計になるためです。

3. 複合仕訳は、総勘定元帳を出力した場合に相手科目がすべて“諸口”になりますので、相手科目を明示したい場合は、単一仕訳で仕訳をしてください。

4. 自動按分仕訳は、複合仕訳が出来ません。

（理由）部門間の自動按分処理は、相手科目が特定されないと正常な按分できないために単一仕訳に直して仕訳をしてください。

## 2 具体的な仕訳例

次のように仕訳を行うと、すべて自動的に貸借対照表・事業活動収支計算書・資金収支計算書及びそれぞれの内訳表が作成されます。

### 日常の仕訳について

#### 収入（当期の事業収入）があった場合の仕訳

- 現金預金などを借方、収入科目を貸方になります。（流動資産が増加）

借方	金額	貸方	金額
現金	5,000	消耗品費	5,000
預金	500	旅費交通費	500

#### 支出（当期の事業支出）があった場合の仕訳

- 経費科目が借方になり現金預金が貸方になります。（流動資産が減少）

借方	金額	貸方	金額
消耗品費	5,000	現金	5,000
旅費交通費	500	預金	500

#### 給与の支払

- 毎月同じパターンになりますので、この仕訳は雛形登録をしておくとう便利です。
- 以下の仕訳は次に説明する複合仕訳になっていますので、元帳の相手科目は諸口になります。

借方	金額	貸方	金額
職員俸給	1,500,000		
職員諸手当	5,000		
職員諸手当	3,000		
職員諸手当	4,000		
		預り金（所得税）	150,000
		預り金（住民税）	50,000
		預り金（社会保険）	100,000
		預り金（雇用保険）	56,000
		現金	1,156,000

### 複合仕訳について

- 次のような複合仕訳を行っても構いませんが、相手勘定は“諸口”になりますので、出来るだけ単一仕訳で行ってください。

借方	金額	貸方	金額
旅費交通費	3,000	運営費収入	5,000
消耗品費	2,000	預金	10,000
水道光熱費	10,000		

一枚の伝票に複合仕訳と単一仕訳を混在させることも出来ます。借方金額と貸方金額が一致している場合は単一仕訳となり、不一致の場合は複合仕訳であると判断します

### 未払金・未収入金・前払金・前受金・立替金等の仕訳

#### 未払金に係わる仕訳

- 未払金の発生

借方	金額	貸方	金額
消耗品費	5,000	未払金	5,000

- 未払金の支払

借方	金額	貸方	金額
未払金	5,000	現金	5,000

(補足)

社会福祉法人会計の未払金は資金収支計算書において現金預金と同等に扱いますので、通常の商業簿記と同じ仕訳が出来ます。未払金の残高は次年度に繰り越されます。

以下に説明する未収入金、前受金、預り金、前受金も同様です。

## 未収会費・未収入金に係わる仕訳

- 未収金の発生

借方	金額	貸方	金額
未収金	1,000,000	経常経費補助金収入	1,000,000

- 未収金の回収

借方	金額	貸方	金額
預金	1,000,000	未収金	1,000,000

## 前受金に係わる仕訳

- 前受金の発生

借方	金額	貸方	金額
現金	5,000	前受金	5,000

- 前受金を収入科目に振り替える

借方	金額	貸方	金額
前受金	5,000	私的契約利用料収入	5,000

## 前払金に係わる仕訳

- 前払金の発生

借方	金額	貸方	金額
前払金	60,000	現金	60,000

- 前払金の解消

借方	金額	貸方	金額
損害保険料	60,000	前払金	60,000

### 預り金に係わる仕訳

● 預り金の発生

借方	金額	貸方	金額
現金	30,000	預り金 (所得税)	30,000

● 預り金の支払

借方	金額	貸方	金額
預り金 (所得税)	30,000	現金	30,000

### 仮払金に係わる仕訳

● 仮払金の発生

借方	金額	貸方	金額
仮払金	50,000	現金	50,000

● 仮払金の振替と清算

借方	金額	貸方	金額
旅費交通費	50,000	仮払金	50,000

## 固定資産に係わる仕訳

### 通常の固定資産の取得

- 器具及び備品の取得（購入）

借方	金額	貸方	金額
器具及び備品	300,000	現金	300,000

### 建物仮勘定を使う仕訳

- 建物仮勘定の発生

借方	金額	貸方	金額
建物仮勘定	50,000,000	預金	50,000,000

- 建物仮勘定を建物に振り替える

この仕訳は、資金収支計算書の変化はありません。

借方	金額	貸方	金額
建物	50,000,000	建物仮勘定	50,000,000

- 資金収支計算書で建物仮勘定支出ではなく、建物取得支出として計上したい場合は次の仕訳で振替処理をしてください。

借方	金額	貸方	金額
建物	50,000,000	資金諸口	50,000,000
資金諸口	50,000,000	建物仮勘定	50,000,000

### 固定資産の売却仕訳

- 売却損が発生した場合

簿価 500,000 円のコピー機を 200,000 円で売却して 300,000 円の売却損が発生

借方	金額	貸方	金額
現金	200,000	器具及び備品	200,000
器具及び備品売却損・処分損	300,000	器具及び備品	300,000

この仕訳により、資金収支計算書には器具及び備品売却収入が 200,000 円のみ計上されます。

- 売却益が発生した場合

簿価 500,000 円のコピー機を 800,000 円で売却して、300,000 円の売却益が発生

借方	金額	貸方	金額
現金	500,000	器具及び備品	500,000
現金	300,000	器具及び備品売却益	300,000

この仕訳により、資金収支計算書の器具及び備品売却収入は 800,000 円になります。

### 固定資産の修正仕訳

- 車輛を購入して、後に仕訳ミスが見つかった場合の修正伝票

借方	金額	貸方	金額
車両運搬具	-100,000	現金	-100,000

**【補足】**

逆仕訳を行うと、資金収支計算書は、売却収入になりますので、マイナス金額で仕訳を行ってください。

### 減価償却及び国庫補助金等取崩の仕訳

- 勘定科目ごとに減価償却を行います。

借方	金額	貸方	金額
減価償却費	500,000	建物	500,000
減価償却費	300,000	構築物	300,000
減価償却費	400,000	車両運搬具	400,000
減価償却費	500,000	器具及び備品	500,000
国庫補助金等特別積立金	200,000	国庫補助金等特別積立金取崩額	200,000

- 償却する金額及び国庫補助金の取崩額は、「らくらく固定資産台帳」で計算できます。
- この仕訳は非資金取引になりますので、必ず単一仕訳で行ってください。複合仕訳を行うと、相手勘定が“資金諸口”になり、資金収支計算書に影響してきますので注意してください。
- “国庫補助金等の取崩収入”は、減価償却に伴うものと除却に伴うもので科目が違いますので、気を付けてください。

## 借入金に係わる仕訳

### 長期借入金の発生

- 次のような仕訳になります。

借方	金額	貸方	金額
預金	1,000,000	設備資金借入金	1,000,000

資金収支計算書には、設備資金借入金収入が計上されます。

### 長期借入金の返済

- 次のような仕訳になります。

借方	金額	貸方	金額
設備資金借入金	500,000	預金	500,000

資金収支計算書には、設備資金借入金償還金支出が計上されます。

## 積立金に係わる仕訳

### 積立金の積立時の仕訳

- 次のような二つの仕訳が必要です。

仕訳 1 は、固定資産に計上する仕訳（資産計上）

仕訳 2 は、積立金に計上する仕訳（負債計上）

借方	金額	貸方	金額
人件費積立預金	3,000,000	預金	3,000,000
人件費積立金積立額	3,000,000	人件費積立金	3,000,000

### 積立金の取崩時の仕訳

- 次の二つの仕訳を行います。

借方	金額	貸方	金額
預金	600,000	人件費積立預金	600,000
人件費積立金	600,000	人件費積立金取崩額	600,000

## 退職共済預け金に係わる仕訳

### 毎月の仕訳（引当金の組入れと、預け金の支出）

- 次の仕訳を行います。
  - ① 52,000 円を退職共済預け金とする。（法人負担分）
  - ② 退職給与引当金を計上する。（法人負担分）
  - ③ 職員からの預かり分を支払う。

借方	金額	貸方	金額
退職共済預け金	52,000	預金	52,000
退職給与引当金繰入	52,000	退職給与引当金	52,000
預り金（退職共済）	5,000	預金	5,000

### 退職金の支払時の仕訳

- 預け金よりも支給額が多い場合・・・引当金 600,000 円に対して 700,000 円の退職金が支払われたとき
  - ① 退職共済預け金 600,000 円を預金に振り替える。
  - ② 多く入金された 100,000 円を雑収入で計上する。
  - ③ 職員へ退職金を支払う。
  - ③ 引当金を戻し入れる。

借方	金額	貸方	金額
預金	600,000	退職共済預け金	600,000
預金	100,000	その他雑収入	100,000
退職金	700,000	預金	700,000
退職給与引当金	600,000	退職給与引当金戻入	600,000

- 預け金よりも支給額が少ない場合・・・引当金 600,000 円に対して 500,000 円の退職金が支払われたとき
  - ① 退職共済預け金 500,000 円（実際の給付額）を預金に振り替える。
  - ② 戻ってこなかった 100,000 円の預け金を雑費処理する。
  - ③ 職員へ退職金を支払う。
  - ④ 引当金を戻し入れる。

借方	金額	貸方	金額
預金	500,000	退職共済預け金	500,000
雑費	100,000	退職共済預け金	100,000
退職金	500,000	預金	500,000
退職給与引当金	600,000	退職給与引当金戻入	600,000

### 職員の所属が変更になった場合の移動仕訳

(仕訳例) 施設 A から施設 B へ移動した場合

- 施設 A での仕訳

借方	金額	貸方	金額
退職給付引当金	500,000	退職共済預け金	500,000

- 施設 B での仕訳

借方	金額	貸方	金額
退職共済預け金	500,000	退職給付引当金	500,000

### そのほか注意の必要な仕訳

#### 寄付金で建物を取得した場合

- 固定資産を取得するために寄付を受け取った場合は、1号基本金に組入れます。

借方	金額	貸方	金額
諸口	2,000,000	施設整備等寄付金収益	2,000,000
建物	2,000,000	諸口	2,000,000
基本組入額	2,000,000	第1号基本金	2,000,000

#### 国庫補助金等を受入れた場合

- 施設（設備）整備等補助金収入を受けて固定資産を取得した時、国庫補助金等特別積立金を積立てます。

借方	金額	貸方	金額
預金	500,000	施設整備補助金収益	500,000
国庫補助金等特別積立金積立額	500,000	国庫補助金等特別積立金	500,000

\*年度末には取崩処理が必要になります。8ページをご参照ください。

## 経理区分間の移動について

### A 部門から B 部門へ資金を繰り入れる場合

- 施設 A での仕訳

借方	金額	貸方	金額
経理区分間繰入金支出	100,000	預金	100,000

- 施設 B での仕訳

借方	金額	貸方	金額
預金	100,000	経理区分間繰入金収入	100,000

### A 部門から B 部門へ建物を移動する場合・・・資金収支計算書に変化はありません。

- 施設 A での仕訳・・・建物を減らします。

借方	金額	貸方	金額
経理区分間繰入金支出	10,000,000	非資金諸口	10,000,000
非資金諸口	10,000,000	建物	10,000,000

- 施設 B での仕訳・・・建物を増やします。

借方	金額	貸方	金額
建物	10,000,000	非資金諸口	10,000,000
非資金諸口	10,000,000	経理区分間繰入金収入	10,000,000

### A 部門から B 部門へ設備資金借入金を移動する場合・・・資金収支計算書に変化はありません。

- 施設 A での仕訳

借方	金額	貸方	金額
設備資金借入金	10,000,000	非資金諸口	10,000,000
非資金諸口	10,000,000	経理区分間繰入金収入	10,000,000

- 施設 B での仕訳

借方	金額	貸方	金額
経理区分間繰入金支出	10,000,000	非資金諸口	10,000,000
非資金諸口	10,000,000	設備資金借入金	10,000,000

### 設備資金借入金を償還寄付金収入で返済

- 施設設備等借入金償還寄付金収入を受けたときは2号基本金に組入れます。

借方	金額	貸方	金額
預金	200,000	設備資金借入金元金償還寄付金収益	200,000
設備資金借入金	200,000	預金	200,000
基本金組入額	200,000	第2号基本金	200,000

### 資金諸口（諸口）と非資金諸口の使い方

- 資金諸口（諸口）を相手に仕訳を行うと、相手科目は資金収支計算書に反映します。
- 非資金諸口を相手に仕訳を行うと資金収支計算書には反映しません。
- 収支計算書への反映については次のようになっていますが、反映の有無を任意に設定する場合は資金諸口及び非資金諸口を使ってください。

例えば、通信運搬費を消耗品費に振り替える場合で、資金収支計算書には反映させたくない場合は次のように仕訳を入力してください。

消耗品費 / 非資金諸口  
 非資金諸口 / 通信運搬費

### 支払資金科目以外での資金収支計算書への反映について

- 本来、支払資金科目（流動資産や流動負債科目等 FlgG=1 の科目）を相手に仕訳を行わないと、資金収支計算書には反映しませんが、修正仕訳や利息を固定資産に入れる場合等、次のケースでも資金収支計算書に自動的に反映できるようにしています。

借方	貸方	仕訳例
経費科目	経費科目	消耗品費 / 材料費
収入科目	収入科目	補助金収入 / 運営費収入
経費科目	収入科目	消耗品費 / 雑収入
収入科目	経費科目	雑収入 / 旅費交通費
固定資産科目	収入科目	積立預金 / 利息収入

- しかし、より明確に仕訳をするためには、次の例のように資金諸口を使って振替を行ってください。

資金諸口 / 利息収入  
 積立預金 / 資金諸口

## 勘定科目コード早見表

以下の二桁の数字を打ってエンターキーを押すとその科目の先頭に飛びます。間違えた場合は、その場でもう一度新しい数字を打ってエンターキーを押してください。

---

**11:流動資産 (現金・預金・未収金)**

**12:固定資産**

---

**21:流動負債 (未払金・短期借入金・預り金)**

**22:固定負債**

**31:純資産**

---

**41:就労支援収入**

**42:就労支援支出**

**51:事業活動収入**

**55:人件費支出**

**56:事務費支出**

**57:事業費支出**

---

**61:事業活動外収入(利息等)**

**65:事業活動外支出**

---

**71:特別収入(施設整備補助金・寄付金等、固定資産売却益)**

**75:特別支出(基本金組入れ、固定資産売却損)**

---

**81:基本金・積立金の取崩額・積立額**